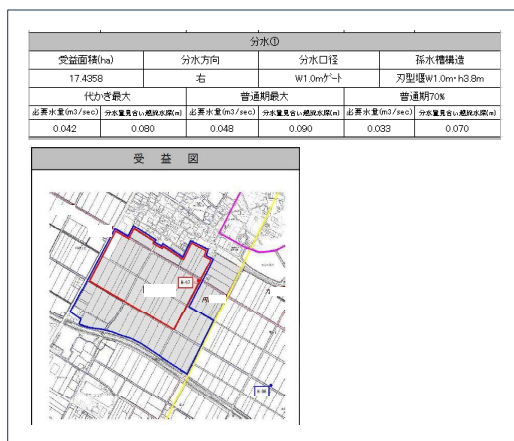
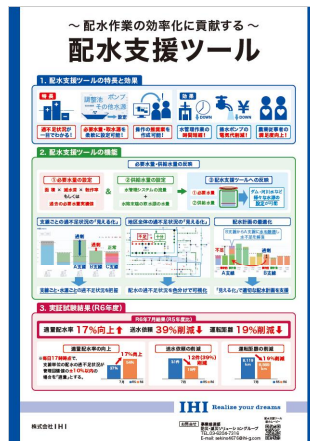




特別賞



分水工カルテサンプル



配水支援ツールのパンフレット



幹線から支線への分水工の写真

(配水支援ツールの配水の過不足状況を参考に遠隔でゲート操作を行い、配水量を調整。地区内に約30箇所)

農業農村分野

データを根拠とした農業用水の水管理への挑戦

取組概要

愛知川沿岸土地改良区は受益地である水田約6,800haへの用水供給を行っており、職員4名が約400箇所の分水工の調整を行い、水管理を行っている。従来、担当は現場の水の流れや水位を見て、経験と勘による調整を行っていたため、操作判断の統一化、流量による管理が課題であった。そのため、従来の水管理からデータを根拠とした水管理への移行を目指し、分水工単位の基準水位及び流量の管理目標値の設定、支線単位の配水の過不足状況の「見える化」を行う「配水支援ツール」等を活用し、根拠に基づく水管理への移行を図り、水管理の高度化・効率化を図った。

受賞理由

過去の配水データを根拠に、支線水路の分水工の流量を把握できる「配水支援ツール」を導入し「見える化」に取り組んだこと、データに基づいた水管理により、適切な用水供給の向上、管理労力の削減、受益者からの苦情等の減少の効果が見られることが評価された。

取組のポイント

各種取組の効果として令和6年7月のデータによる検証では、対前年同月比で、管理目標通りに水を供給できた割合の向上（17%増）、土地改良区の管理担当職員が運転する自動車の運転距離の減少（19%減）、送水依頼の減少（39%減）した。その結果、水管理の高度化、効率化を達成した。

受賞者について



受賞者

(写真左から)
愛知川沿岸土地改良区 理事長 小椋 正清
株式会社IHI 社会基盤事業領域長 上田 和哉

コメント

この度は、特別賞(農林水産省)という名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。

愛知川沿岸土地改良区では、従来の経験則や人為的判断に依存した送水管理から、「分水工カルテ」や「配水支援ツール」等を活用したデータ管理への移行に取り組んでいます。

今回、データ活用のための技術支援及びご協力をいただいたIHIグループならびに関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

本受賞を励みとして、今後もデジタル技術を活用しながら、より精度の高い配水計画と安定供給に努めてまいります。

団体概要

当改良区は鈴鹿山脈に源を発する愛知川を中心に広がった扇状地であり、2市2町(東近江市、近江八幡市、愛荘町、豊郷町)にまたがる受益地に用水を供給しています。

問い合わせ先

愛知川沿岸土地改良区
TEL : 0748-22-1296
FAX : 0748-23-4143
E-mail : soumu@e-engan.or.jp